

平成 29 年 10 月 霧島新燃岳噴火初日 調査報告

調査日：2017 年 10 月 11 日午後 5 時～8 時

調査地：霧島市，高原町

調査者：長谷中利昭，川口允孝（自然科学研究科 M2）

後方支援：田島靖久（日本工営）

現地案内：古園俊男（霧島ネイチャーガイドクラブ）

10 月 11 日に霧島新燃岳噴火の報を受け，授業後，現地にかけつけ，限られた時間内で調査，試料採集をし，火山灰噴出量の見積りをしたので，報告する．



二方向にたなびく噴煙．西から新燃岳を望む．この時点では右側に流れていた．

(2017/10/11 17:15:39, 31° 54' 31.632" N, 130° 57' 59.808" E)



皇子原公園に駐車していた車の屋根に積もった火山灰

(2017/10/11 17:30:35, 31° 54' 26.358" N, 130° 57' 37.092" E)



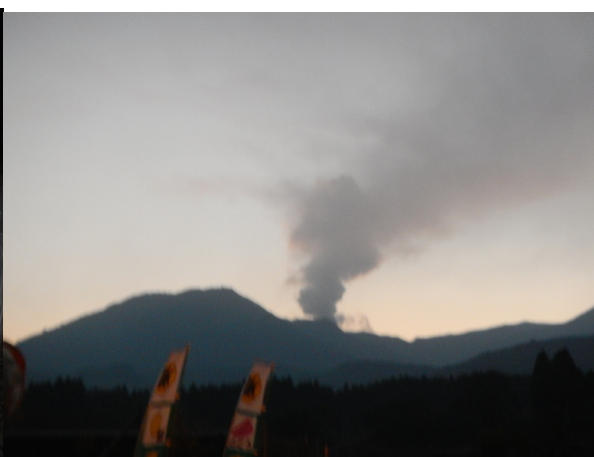
第1試料採集地点

(2017/10/11 17:53:10, 31° 54' 43.212" N, 130° 58' 1.512" E)



第2試料採集地点

(2017/10/11 18:06:44, 31° 55' 10.812" N, 130° 57' 19.32" E)



第3試料採集地点

(2017/10/11 18:21:44, 31° 55' 5.592" N, 130° 58' 12.438" E)



第 4 試料採集地点

林道脇の空が開けた場所. この地点の火山灰量は多く, 他の地点との整合性が悪く, 火山灰量の推定計算からは除外した. 新燃岳から真東方向 4km で火口に近く, 近傍に選択的に多く降灰した可能性が考えられる.

(2017/10/11 19:43:00, 31° 54' 39.6" N, 130° 55' 59.118" E)

火山灰量の推定結果を添付する.